

# 1 人権への配慮

在宅で暮らす障害者(児)が「尊厳をもってその人らしい自立した豊かな生活が送れるよう支援する。」という理念に基づき、①サービス提供の基本方針が明示され職員に認識されているか、②利用者が主体的にサービスを利用できる体制が取れているか、③利用者ニーズに基づいたサービスが地域の関係機関との連携によって提供されているか、④地域の一員であり、社会資源のひとつとしての認識を持ってサービス提供に努めているか、といったことを評価します。

また、利用者の人権への配慮、対等な関係性、プライバシー保護を前提とした情報の公開、自立を目指すエンパワメントや利用者が求めている自立生活への支援がされているかという点を評価します。

さらに、苦情解決や必要な改善を行う体制の整備、利用者への周知という点も評価対象となります。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)サービス提供の基本方針	①サービス提供に関する基本方針・職員等への周知	<input checked="" type="checkbox"/> 1.基本方針(理念)を事業所として責任をもって作成、明文化している。	令和7年3月策定の湖南市子ども計画で基本理念として「すべてのこども・若者の健やかな育ちを保証するまち湖南市をめざして」と明記されている。HPや事業所の重要事項説明書で、理念を基に基本方針が示されている。基本方針の策定にも参加し職員の意向も反映されている。利用者主体の視点が契約書や重要事項説明書で明確に示されている。こども子育て応援課・家庭児童相談室・母子保健等も連携し地域の在宅支援公共に寄与する体制も充実している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.基本方針が利用者に周知されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.基本方針に職員の意向が反映されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.利用者主体の視点を明確にしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.地域の在宅支援向上に寄与することを明確にしている。	
5項目中 5 項目 評価結果 A			
(2)サービス提供体制	①利用者主体のサービス確保に向けた取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 1.サービスの質に関する話し合いを事業所内で定期的、継続的に行っている。	毎月の定例会で関係職員全員が活発な話し合いをしている。事業所の定例会や保護者アンケートでサービス課題を明確にし、改善に努めている。常に保護者同伴でプログラムを実施するので、常時意見交換されている。市の人事評価システムで年2回職員スキル評価を実施している。職員会議では活発な議論がなされ、発言の少ない職員には問いかけで発言を引き出すように、平等に発言の機会を確保されている。職員への人事評価システムでの育成個別面談や職員からの相談に応じている。市職員としての研修があり、運営規定にも明記されている。全職員に研修が案内され専門図書やZOOMを用いたもの等質の高いサービスを提供するための勉強の機会が確保されている。研修内容は復命書等を作成し回覧し知識を共有している。またミーティング等で伝達している。一年目の職員には市の初任者マニュアルに沿って常に付き添い不安を抱え込むことがないような体制が出来ている。チームで仕事をする中でOJT手法を自然と活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.サービスの課題を明確にし、改善に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.利用者を交えての意見交換の場が、随時、持たれている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.質の高いサービスを確保するため、定期的、継続的に職員のスキル評価を実施している。	
	②内部コミュニケーションを図る機会の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 1.全職員で業務改善や利用者サービスの点検について意見交換する場が、随時もたれている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.職員会議では議題に対して対等、自由活発に議論をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.職員会議で決められたことは、全員一致して取り組んでいる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.職員の不安や悩みを解消するミーティングや不安等を受け止める体制がある。	
	③職員研修の機会(職員の育成)	<input checked="" type="checkbox"/> 1.全職員に研修が案内され、参加機会の均等化に配慮されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.外部研修への参加希望には、できるだけ添うように努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.一年目の職員に対する、研修マニュアルが準備されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.自主研修の機会づくりを支援している。(職員側からの研修計画への支援)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.研修結果を全職員に還元する機会を作っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 6.研修には、専門図書やビデオなども活用している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 7.研修には、OJT手法を活用している。	
15項目中 15 項目 評価結果 A			
(3)人権擁護・苦情への対応	①利用者とサービス提供者の対等な関係性への配慮	<input checked="" type="checkbox"/> 1.年齢相応の応対、言葉かけ、呼称を使っている。	ご家庭と同じ呼称を使って親しみやすく接している。保護者さんにも関係に配慮した呼称を使っている。指導的な立場ではなく支援の視点で、子どもの特性や発達に応じた支援をしている。市の虐待研修を受け、懲罰規定に応じた防止策が取られている。個人情報の守秘義務は市の研修や職員ミーティングでも定期的に実施している。徹底した対策が取られていることは重要事項説明書等で利用者に対して説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.指導的立場ではなく、支援の視点で関わっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.利用者への暴力や虐待行為に対して、懲罰規定や研修会等の防止策がとられている。	
	②個人情報の保護や情報開示への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者の個人情報に関する取り扱いやケース記録の保管に関する規定がある。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.関係機関への個人情報の提示については、利用者に同意を得て行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.個人情報の守秘義務を職員に徹底させている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.守秘義務やプライバシーの保護を徹底していることを、利用者に対して説明している	

	③苦情相談窓口等の体制の明文化と周知	<input checked="" type="checkbox"/> 1.苦情解決体制が明文化され、利用者や関係機関に周知されている。	相談・苦情の受付について、重要事項説明書に連絡先電話・FAX番号、管理責任者も明記されている。事業所以外の苦情窓口も明記されており、苦情解決体制が構築されている。市町村や県と連携しながら苦情対応していることをわかりやすく書面にて明記し、随時必要に応じて口頭でも説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.苦情相談の受け付け担当者や責任者を明確にしている。	
		<input type="checkbox"/> 3.苦情解決へ向けた第三者委員会が設置されている。(非該当)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.苦情相談の解決が事業者のみで困難なときは、外部の権利擁護機関などと連携している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.利用者に外部の権利擁護機関の存在や役割を情報提供している。	
12項目中 11項目 評価結果 A			
(4)利用者の自己実現への配慮	①利用者の意志の尊重と支援	<input checked="" type="checkbox"/> 1.職員や関係者の価値観で決めるのではなく、利用者の意志を尊重するように努めている。	個別支援計画作成時に利用者の意志を十分に尊重して作成している。その後の支援も保護者と協力しながら個々に合わせたコミュニケーションを取っている。様々なツールによる体験学習や新しい体験機会を用意できるように努めている。ボランティアの受入や保育園と連携した行事参加も支援している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者に合わせたコミュニケーション方法をとっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.重度の人の場合、家族からの聞き取りをするが、本人の意志を尊重する努力をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.新しい体験にチャレンジできる機会づくりに努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.地域の行事への参加や、ボランティアとの関わりをもてる機会を作れるよう支援している。	
5項目中 5項目 評価結果 A			
(5)エンパワメントと自立支援	①情報の提供	<input checked="" type="checkbox"/> 1.自立生活(成人期以降の家族からの独立や社会参加促進等)を実現するための、情報をわかりやすく伝えるように努めている。	発達支援システムにより切れ目のない支援がなされており、制度の説明は親の会や保護者学習会等で随時実施している。発達支援室にて2年に1回市民公開講座を実施したり、企業訪問を行い障害者理解への啓蒙活動もしたりしている。自分で自分のことができるように着脱や生活の基本動作を支援している。したいこともしたくないことも自分で選べるように、決められるように配慮している。
	②自己選択と自己決定	<input checked="" type="checkbox"/> 2.自立生活を促進させるため、地域に対して情報の提供や障害者理解への啓蒙活動に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 1.自立生活をイメージできる体験の機会をつくるなど、自立に向けての支援に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.できる限り自分が住み慣れた地域での、生活を継続できるよう支援に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.自分の暮らしを自己決定できるよう、制度サービスを説明している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 4.様々な機会において、自分で選択し、決定できるよう配慮している。			
6項目中 6項目 評価結果 A			
(6)地域との接点	①地域に対するサービスの情報公開と周知	<input checked="" type="checkbox"/> 1.地域に対してサービス内容の情報を開示している。(パンフレット、掲示板等の活用)	どうさんだよりを毎月、湖南市内の各園に配布している。地域に向けての講座では講師として参加したり企画・実践したりしている。学校教育課主催の研修にも講師として参加している。発達支援システムに沿って地域の一機関としての役割を意識して、サービス提供している。保育園や小学校、その他関係機関と連携し、包括的な支援ができています。実習生やボランティアは申し込みがあれば受け入れるが実績はない。発達支援関係ではことばの教室で実習生を受け入れたことがあり、定期ボランティアではないが、行事ボランティアは親の会で来てもらっている。規定等に関しては今後整備していく予定である。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.機関誌を発行するなど地域への情報提供、PR等を実施している(年3回以上)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.地域に向けての講座や研修等を企画、実践している。	
	②サービス調整会議への参画、関係機関との連絡、調整	<input checked="" type="checkbox"/> 1.地域のサービス調整会議に参加している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.地域の一機関としての役割を意識して、サービス提供をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.日常的に関係機関との連携に努めている。	
	③実習生、ボランティアの受け入れ	<input checked="" type="checkbox"/> 1.実習生を受け入れている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.ボランティアを受け入れている。	
		<input type="checkbox"/> 3.受入の方針、マニュアル、担当者を明確にしている。	
		<input type="checkbox"/> 4.受入の際、利用者のプライバシーの保護の確保に努めている。	
10項目中 8項目 評価結果 A			
(7)信頼と安全性の確保	①事故や災害発生時への対応や予防、防災への取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 1.事故、災害に対しての対応マニュアルが作成されている。	避難訓練は年2回行われている。クラス別に行われているため5日間訓練があり、職員も色々な担当を交代で訓練できている。避難誘導や応急救護等について実施後に振り返りも行われ、見えてきた課題は改善されている。避難階段も部屋のすぐ近くにあり、広い階段で1階駐車場まで安全に避難できる。ヒヤリハット報告書は迅速に確認・周知される体制ができています。保健師が配置され学校とも連携している。換気も随時行われ空気清浄機も設置されている。嘱託医が配置されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者、事業所、関係機関等と緊急の連絡が取れるよう努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.事故発生時には、事故の状況が全職員に周知されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.事故を未然に防ぐ方法やまた事故発生後の申告書等が整備されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.必要に応じ消防署や警察署との連携を取っている。	
	②衛生管理、感染予防への対応	<input checked="" type="checkbox"/> 1.衛生管理、感染予防の情報を取り入れるよう努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者、職員の衛生管理、感染予防に努めている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 3.必要に応じ医療、保健機関との連携をとっている。			

	8項目中8項目	評価結果 A	
--	---------	--------	--

## 5 児童デイサービス、重症心身障害児通園事業（施設）

発達期における障害児へのサービス提供には、本人への療育活動の場での支援とともに、保護者への配慮や相談支援、在宅生活への支援、さらには保健医療機関との連携も必要です。

このため、家庭での生活状況やニーズの把握など養育者（保護者）との連絡や養育者への相談支援の状況、生活支援との一体的な発達支援やサービス利用後のフォローアップなどを評価します。

また、ここで言うところの利用者とは、本人及び保護者を指します。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)障害児通園デイサービスの提供	①サービス利用	<input checked="" type="checkbox"/> 1.療育の内容、本人の状況、家庭での状況について保護者と連絡を密にとっている。(連絡帳、電話、ファクス、インターネット等の活用)	サービスの内容や療育の内容が知りたい時には、市のホームページを閲覧すれば情報が開示されている。個々の利用の状況等保護者とは連絡帳で情報交換及び情報共有を行っている。プログラムは状況に応じて意向を個別に反映し作成している、地域の保育園にも毎月訪問し連携に努めている。プログラム内容に応じて県からの派遣でPTやOTと提携し、STは常勤している。サービス提供中の記録は日々こまめに記録されている。就学後も高校卒業まで情報共有できるように記録を保管している。保護者への支援として心配事がある時には来所曜日だけでなくも随時対応している。保健師が常勤し石部診療所に滋賀医大から医師が往診し連携している。障害受容や不安の除去は困難であるが、個別に丁寧に対応され、保護者学習会でも知識をつけられるように支援している。医療との連携により合理的な対応や配慮ができています。保護者も療育に参加され、連携できている。半期に一度家庭訪問している。同じ建物内に家庭児童相談室や母子保健係があり、課を超えた情報共有がなされており、常時連携体制が取れている。お弁当持参なので食事提供はないが、必要に応じ食事前にレンジで温めたり、楽しんで食事ができたりするように食事場の雰囲気づくりにも配慮されている。保護者または職員が同伴し、定時に排泄誘導などの支援をしている。既存の施設ではあるが多目的トイレの便座を子ども用の高さに改造したり、補助便座を活用したりして支援を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.日中の療育プログラムが本人の障害状態に応じて複数ある。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.プログラムに本人や保護者の意向が反映されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.地域の保育園との交流や連携に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.プログラムに応じて専門職員(PT、OT、ST等)を配置している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 6.サービス提供中の記録に努めている。	
	②保護者への支援	<input checked="" type="checkbox"/> 1.開設日以外に日を設定する等により、保護者の相談に応じている。	保護者への支援として心配事がある時には来所曜日だけでなくも随時対応している。保健師が常勤し石部診療所に滋賀医大から医師が往診し連携している。障害受容や不安の除去は困難であるが、個別に丁寧に対応され、保護者学習会でも知識をつけられるように支援している。医療との連携により合理的な対応や配慮ができています。保護者も療育に参加され、連携できている。半期に一度家庭訪問している。同じ建物内に家庭児童相談室や母子保健係があり、課を超えた情報共有がなされており、常時連携体制が取れている。お弁当持参なので食事提供はないが、必要に応じ食事前にレンジで温めたり、楽しんで食事ができたりするように食事場の雰囲気づくりにも配慮されている。保護者または職員が同伴し、定時に排泄誘導などの支援をしている。既存の施設ではあるが多目的トイレの便座を子ども用の高さに改造したり、補助便座を活用したりして支援を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.状況に応じて医療保健機関等と連携して、保護者の支援に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.保護者の障害受容、不安の除去などに努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.保護者同士の、ネットワークの育成に努めている。	
	③在宅生活への支援、対応	<input checked="" type="checkbox"/> 1.家庭訪問などにより家庭での状況把握や支援に努めている。	保護者への支援として心配事がある時には来所曜日だけでなくも随時対応している。保健師が常勤し石部診療所に滋賀医大から医師が往診し連携している。障害受容や不安の除去は困難であるが、個別に丁寧に対応され、保護者学習会でも知識をつけられるように支援している。医療との連携により合理的な対応や配慮ができています。保護者も療育に参加され、連携できている。半期に一度家庭訪問している。同じ建物内に家庭児童相談室や母子保健係があり、課を超えた情報共有がなされており、常時連携体制が取れている。お弁当持参なので食事提供はないが、必要に応じ食事前にレンジで温めたり、楽しんで食事ができたりするように食事場の雰囲気づくりにも配慮されている。保護者または職員が同伴し、定時に排泄誘導などの支援をしている。既存の施設ではあるが多目的トイレの便座を子ども用の高さに改造したり、補助便座を活用したりして支援を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.他の関係機関と連携しながら、在宅生活の支援に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.サービスを体験する機会を設けている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.生活支援プランの中に、療育活動が位置づいていることを意識している。	
	④フォローアップ	<input checked="" type="checkbox"/> 1.卒園後も利用者の状況把握に努めている。	保護者への支援として心配事がある時には来所曜日だけでなくも随時対応している。保健師が常勤し石部診療所に滋賀医大から医師が往診し連携している。障害受容や不安の除去は困難であるが、個別に丁寧に対応され、保護者学習会でも知識をつけられるように支援している。医療との連携により合理的な対応や配慮ができています。保護者も療育に参加され、連携できている。半期に一度家庭訪問している。同じ建物内に家庭児童相談室や母子保健係があり、課を超えた情報共有がなされており、常時連携体制が取れている。お弁当持参なので食事提供はないが、必要に応じ食事前にレンジで温めたり、楽しんで食事ができたりするように食事場の雰囲気づくりにも配慮されている。保護者または職員が同伴し、定時に排泄誘導などの支援をしている。既存の施設ではあるが多目的トイレの便座を子ども用の高さに改造したり、補助便座を活用したりして支援を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.卒園後も教育機関との連携に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.卒園後も利用者に関するケア会議などに参加している。	
	⑤食事援助	<input type="checkbox"/> 1.利用者ニーズに基づいて、食事が提供されている。(非該当)	保護者への支援として心配事がある時には来所曜日だけでなくも随時対応している。保健師が常勤し石部診療所に滋賀医大から医師が往診し連携している。障害受容や不安の除去は困難であるが、個別に丁寧に対応され、保護者学習会でも知識をつけられるように支援している。医療との連携により合理的な対応や配慮ができています。保護者も療育に参加され、連携できている。半期に一度家庭訪問している。同じ建物内に家庭児童相談室や母子保健係があり、課を超えた情報共有がなされており、常時連携体制が取れている。お弁当持参なので食事提供はないが、必要に応じ食事前にレンジで温めたり、楽しんで食事ができたりするように食事場の雰囲気づくりにも配慮されている。保護者または職員が同伴し、定時に排泄誘導などの支援をしている。既存の施設ではあるが多目的トイレの便座を子ども用の高さに改造したり、補助便座を活用したりして支援を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者の障害状態に応じた食事援助がなされている。(調理法、食器、介助方法、自助具等)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.適時、適温の提供や食事の雰囲気作りに努めている。	
	⑥排泄援助	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者の障害状態に応じた排泄援助が、随時なされている。(便器、介助等)	職員手書きのわかりやすいイラストが多数あり、様々な障害状態への工夫と配慮がうかがえる。着替えスペースには仕切りがあり、プライバシーが保護されている。エレベーターが設置され、廊下も広く不要物が置かれていることもない。クッションマットや突起物には保護材で覆うなど細やかな配慮が見られる。プレイルーム使用後は用具を片付け、おもちゃ等が見えないように目隠しされている。毎日サービス開始時に打ち合わせをして担当保育士がいなくてもどの職員でも変わりなく、質の高いサービス提供が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.プライバシーが保護されている。	
	⑦建物、設備の環境	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者の障害状態に応じた環境づくりに配慮している。	保護者への支援として心配事がある時には来所曜日だけでなくも随時対応している。保健師が常勤し石部診療所に滋賀医大から医師が往診し連携している。障害受容や不安の除去は困難であるが、個別に丁寧に対応され、保護者学習会でも知識をつけられるように支援している。医療との連携により合理的な対応や配慮ができています。保護者も療育に参加され、連携できている。半期に一度家庭訪問している。同じ建物内に家庭児童相談室や母子保健係があり、課を超えた情報共有がなされており、常時連携体制が取れている。お弁当持参なので食事提供はないが、必要に応じ食事前にレンジで温めたり、楽しんで食事ができたりするように食事場の雰囲気づくりにも配慮されている。保護者または職員が同伴し、定時に排泄誘導などの支援をしている。既存の施設ではあるが多目的トイレの便座を子ども用の高さに改造したり、補助便座を活用したりして支援を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.スムーズに移動できるよう、日頃から整理整頓に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.緊急時の連絡網が、整備された住環境づくりに努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.トイレの美化など住環境の整備に努めている。	
	⑧サービスの標準化	<input checked="" type="checkbox"/> 1.どの職員においても、同じ質のサービスが提供できるよう工夫している。(工夫とは記録、情報交換等を含む会議の実施等)	保護者への支援として心配事がある時には来所曜日だけでなくも随時対応している。保健師が常勤し石部診療所に滋賀医大から医師が往診し連携している。障害受容や不安の除去は困難であるが、個別に丁寧に対応され、保護者学習会でも知識をつけられるように支援している。医療との連携により合理的な対応や配慮ができています。保護者も療育に参加され、連携できている。半期に一度家庭訪問している。同じ建物内に家庭児童相談室や母子保健係があり、課を超えた情報共有がなされており、常時連携体制が取れている。お弁当持参なので食事提供はないが、必要に応じ食事前にレンジで温めたり、楽しんで食事ができたりするように食事場の雰囲気づくりにも配慮されている。保護者または職員が同伴し、定時に排泄誘導などの支援をしている。既存の施設ではあるが多目的トイレの便座を子ども用の高さに改造したり、補助便座を活用したりして支援を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.随時、サービス提供の見直しに努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.サービス提供マニュアルに対して、利用者の同意を取っている。	
29項目中 28 項目 評価結果 A			

(2)健康管理 などへの支 援	①健康管理と健康 に対する職員研修	<input checked="" type="checkbox"/> 1.利用者の体調の変化に気をつけながらサービス提供を行っている。	自宅で検温をしてから来所しているが、様子を見て気になる時には随時適切な対応をしている。保護者同伴なので常に情報共有ができていたが、担当保育士不在時や後日にでもわかるように、連絡ノートにも記録され共有できている。保健師が配置されている。職場研修にて、障害特性や健康に対する学習会を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.利用者の健康状況、体調変化への対応を職員が周知している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3緊急対応の記録の作成に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.体調不良等に対応できる看護職が配置されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 5.障害特性や健康に対する学習会を実施している。	
	5項目中 5 項目 評価結果 A		
(3)利用者評 価の受け止 め	①サービス提供時 の利用者の評価と サービス評価体制 の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 1.サービスに対する評価の場として、利用者会を実施している。	年一回、親の会でのアンケートを実施し結果を掲示している。業務分掌にてサービス評価、自己評価の担当を明記し、事業所内にサービス改善のための体制が整備されている。第三者評価を今回初めて受審されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2.サービスに対する評価の場として、アンケートを実施している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3.事業所内にサービス改善のための体制を整備している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4.外部の機関と連携し、サービス評価に努めている。	
	4項目中 4 項目 評価結果 A		